

令和6年度 中黒瀬小学校 研究構想図

学校教育目標

かしこく やさしく たくましい子供の育成

子供につけたい力

目標に向かって 最後まで粘り強く取り組む力

自分の考えをもち 問題解決を通して 新しい価値を生み出す力

研究主題

児童が考える楽しさを実感できる授業の創造

～思考場面における問いの設定を通して～

児童

「できた!」「わかった!」
問題解決し、達成の満足感をもつ

- ①「見方・考え方」を働かせて思考する
- ②ペアやグループによる対話を通して新しい考えに気付く
- ③知識を相互に関連付けて深く理解する

学ぶ意欲の向上

ICTの効果的な活用

授業者

主体的に考えさせる授業づくり

- ①導入場面において、子供自身が考えたい問題に出合わせる
- ②思考場面における「見方・考え方」を働かせるための問いの設定
- ③振り返りを充実し、学びの深化・統合を図る

学びを支える取組

- ・学級経営力の向上(学級集団作り、学習規律の徹底等)
- ・特別支援教育の視点からの学習環境整備
- ・基礎学力の定着(センダタイム、朝読書、漢字学習ノート、計算チャレンジプリント等)
- ・学力に課題がある児童への個別指導や個別支援の充実(放課後ルンルン教室、サマースクール等)
- ・家庭との連携(基本的な生活習慣の定着、家庭学習の習慣化、忘れ物ゼロ等)